

## カッスル夫妻 (1939)

THE STORY OF VERNON AND IRENE CASTLE

メディア 映画

ジャンル ミュージカル 伝記

製作国 アメリカ

色彩 B&amp;W

時間 90分

初公開日 1940/02

公開情報 劇場公開

## 【解説】

アステア&ロジャース作品のトップの水準に達しているとは思えないが、実在人物の伝記ミュージカルとしては上出来の部類で、今世紀初頭の名ダンス・チーム、ヴァーノンとアイリーンのカッスル夫妻の波乱に満ちた人生を物語る。1911年、週末を花形女優とのデートに待ちぼうけを喰わされた舞台俳優のヴァーノンは、溺れかけた仔犬を共に助けたことからアイリーンと恋に落ちて…と“まるで映画みたい”に始まる、この9作目以後、二人は10年の間コンビを解消し、49年の「ブロードウェイのバークレー夫妻」まで（そしてそれきり）その華麗な舞は見られなかった。ヴァーノンの恋のお相手は、“ダンス・マッド・ガール”の異名を取っていた。彼女に引きずられるように踊りの練習に励み、これを舞台に活かす希望を糧に二人はゴールイン。だが、所属劇団のボスは無理解で、夫妻でパリに渡って見たものの、興行師は彼のお笑いを求めていた。喰うにも困る状況を救ったのは目利きの女興行師マギー。その助力で一流クラブに立った彼らは一躍大人気を博し、凱旋帰国となり、流行のステップを続々生んでいくが（合衆国の地図上、踊る彼らに続いてダンスの輪がいくつも生まれる場面は圧巻）、人気絶頂で舞台を引退。幸福な家庭生活に入ったのも束の間、第一次大戦の勃発となり、ヴァーノンは母国イギリスのため英軍飛行隊入りを志願。アイリーンは映画界に迎えられ、主演作を何本か撮る。が、戦線で2年を送った夫が帰国し、米空軍教官として参加した飛行式で思いがけない災難が…。後半の展開は「グレン・ミラー物語」みたいだが、同作同様、湿っぽくは終わらず、アイリーンは幻の二人のダンスに明日を見据えるのであった。彼女の執事役で名優ブレナンが好助演。

## 【クレジット】

監督	ヘンリー・C・ポッター	Henry C. Potter
原作	アイリーン・カッスル	Irene Castle
脚本	リチャード・M・シャーマン	Richard M. Sherman
撮影	ロバート・デ・グラス	Robert De Grasse
出演	フレッド・アステア	Fred Astaire
	ジンジャー・ロジャース	Ginger Rogers
	ウォルター・ブレナン	Walter Brennan
	エドナ・メイ・オリヴァー	Edna May Oliver
	ルー・コディ	Lew Cody
	エチエンヌ・ジラルド	Etienne Girardot
	マージョリー・ベル	Marjorie Bell